



ではあるまい。要するに自然の神は眠れるものに或は物質的の欲望に酔へる彼等に覺醒を促したに違ひないのだ。

去る九月一日恐るべき音響と共に投破されたその轟の中には神は必らず、「醒めよ醒めよ」と叫んだに違ひない。斯ふした時是の無言の修養に感動されて大いに正義の道に奮起するものこそ眞に徹底せる幸福を得るものだ、即ち復興の大なるものであらねばならぬ。

然るに今回の天災は必らず物質的の復興を意味するよりも寧ろ精神的にモット／＼目醒めよと教へられた事と信じて止まない、而して民衆が精神的復興に努め純眞なる日本國民として崇高なる思想を養生するに至らば自然總べてに於て徹底せる文化の世界を建設する事が出来るのだ。

然るに修養訓練の缺いた我國民は今度の大惨害に當面して決して心的結果を來たさなと思ふ、何んとなれば災害と同時に起つたあらゆる犯罪に見ても又流言蜚語に惑はされた事より見ても又一時元氣を恢復して或る仕事に着手しても被害の甚大なる爲に思ふ様に其の事業が成立せざる時其の間より諸種の缺陷を曝露し來るかと思ふ。故に此の際は強烈なる精神的感化力を有する指導者を得て心的修養に努めなければならぬ。その指導者たるべきは靈格の日蓮聖人であらねばならぬと思ふ。斯くて復興と云ふも唯表面の物質的復活のみを以て足れりと思わずに何より精神的に向上發展の道を開拓し從來の盲目的感情や淺近なる科學的理智や法律萬能、經濟萬能、政治萬能、教育萬能の夢より醒めて、ほんとうに復興的氣分に生きて更に堅實なる國家の建設に努力奮闘せなければならぬ。

燒野が原

秦觀行

コスモスの誇も消へて寒風に

落葉ちりしくむさしの原

はてもなき燒野か原に風さへて

さびしさの限りなるらし時雨降る

夕ぐれさむく鴉なくなり

燒野が原の夕ぐれの空